

線形代数学第一 (LAS.M102-10)

階数・逆行列

山田光太郎

`kotaro@math.titech.ac.jp`

`http:`

`//www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2022/linear-1/`

東京工業大学

2022/05/02 (2022/04/25 訂正)

正則行列と逆行列

問題 5-1

問題 行列

$$A := \begin{bmatrix} 1 & 4 & 3 & 2 \\ 2 & 3 & 1 & 4 \\ 3 & 2 & 4 & 1 \\ 4 & 1 & 2 & 2 \end{bmatrix}$$

と 4 つの列ベクトル

$$\mathbf{e}_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{e}_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{e}_3 = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{e}_4 = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}$$

に対して $A\mathbf{x}_j = \mathbf{e}_j$ を満たす列ベクトル \mathbf{x}_j ($j = 1, 2, 3, 4$) を求めなさい。

行列の正則性と逆行列の計算

テキスト 58 ページ, §2.6.

問題 6-1

問題

n 次正方行列 A に対して、 n 次列ベクトル \boldsymbol{x} を未知ベクトルとする連立一次方程式（同次方程式・斉次方程式）

$$A\boldsymbol{x} = \mathbf{0} \quad (*)$$

を考える。ただし $\mathbf{0}$ は零ベクトルである。

1. $\boldsymbol{x}_1, \boldsymbol{x}_2, \dots, \boldsymbol{x}_r$ が (??) の解ならば、スカラ $\lambda_1, \dots, \lambda_r$ に対して

$$\lambda_1\boldsymbol{x}_1 + \lambda_2\boldsymbol{x}_2 + \cdots + \lambda_r\boldsymbol{x}_r$$

も (*) の解であることを示しなさい。

2. A が正則ならば (*) の解は零ベクトルのみであることを示しなさい。